

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 20号)

2021年 3月24日発行

兵庫のみ研究所

この海域全般に栄養塩を消費する植物プランクトンはほとんど確認されませんでした。窒素は、陸水等の影響もあり地先で概ね3~5 $\mu\text{g-at/L}$ 台、沖筋で1 $\mu\text{g-at/L}$ 台半ば~2 $\mu\text{g-at/L}$ 台と少し上昇した値となっています。

(水温) 漁場内平均11.0℃。昨年比1.0℃ 低く、平年比0.8℃ 高い。(塩分) 平均31.80psu。前回 (31.81) とほぼ同値。
 (栄養塩、珪藻) 別府や高砂周辺で、レプトシリンダラスやキートセロスのほかユーカンピアが見られたが、何れの珪藻も少し確認される程度であった。明石海峡部の窒素は前回 (3/16) 調査並みの値となっており、今回調査は満潮時ということでその海水の波及や陸水等の影響、また珪藻もほとんど確認されないことからこの海域の栄養塩は全体的にやや上昇している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.5	11.0	10.2	12.0
窒素	1.3	2.8	2.8	2.7
リン	0.29	0.33	0.26	0.33

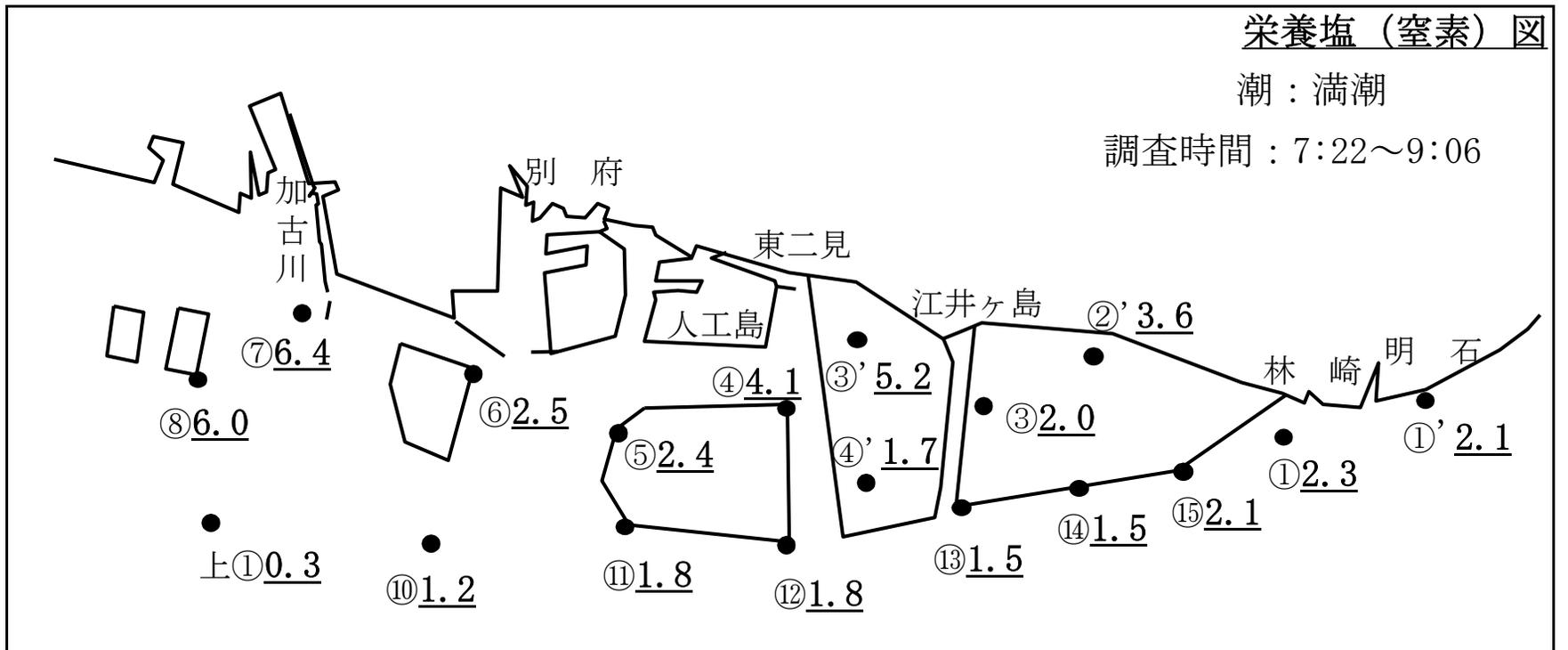
(3/16) (3/13)

2021年 3月24日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：満潮

調査時間：7:22~9:06



水温図

